



福祉厚生委員会

重層的支援体制整備でどう変わる？



加納 やすこ

山田 久美

中島 まなみ

大橋 ゆうすけ

ゆきむら ともこ

小出 あさこ



10月19日東海市

国が「重層的支援体制整備事業」をつくった背景には・・・

- ・生活の中で直面する困難・生きづらさが複雑化・複合化
- ・既存の福祉制度の対象になりにくいケースや世帯内に複数の課題を抱えているケースが表面化
- ・子ども・障害者・高齢者・生活困窮者のような対象者ごとでは対応が困難

例えば・・・8050問題の世帯

- ・核家族化や地域のつながりの希薄化と血縁や地縁に頼らない新しい結びつき

例えば・・・

8050問題の世帯

- ・ 40～50代の息子
- ・ 発達障がい疑われるが、医療受診や手帳取得はなし
- ・ 障がい者として扱われることに嫌悪感あり
- ・ 長期間働いていないため、就労意欲が低い
- ・ 現時点で親の年金で生活できているため、危機感がない



- ・ 70～80代の母親
- ・ 加齢に伴い、日常生活を送るための家事などが自力では困難になってきた
- ・ 息子のことを気にしてサービスに頼らない傾向がある
- ・ 自身が亡くなった場合に息子の生活が心配
- ・ 共依存関係で、息子の言うがまま聞いてしまう。

①息子の状況把握

②関係性の構築

③日中に外に出るなどの生活習慣の1歩目の改善

④お手伝いレベルの仕事の定着

⑤人との関わりの定着



①母親の状況把握

②関係性の構築

③息子の支援レベルに応じてサービスの導入調整

④家庭内と地域での居場所づくり・マッチング

重層的支援体制整備事業とは？

既存の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため

1 相談支援

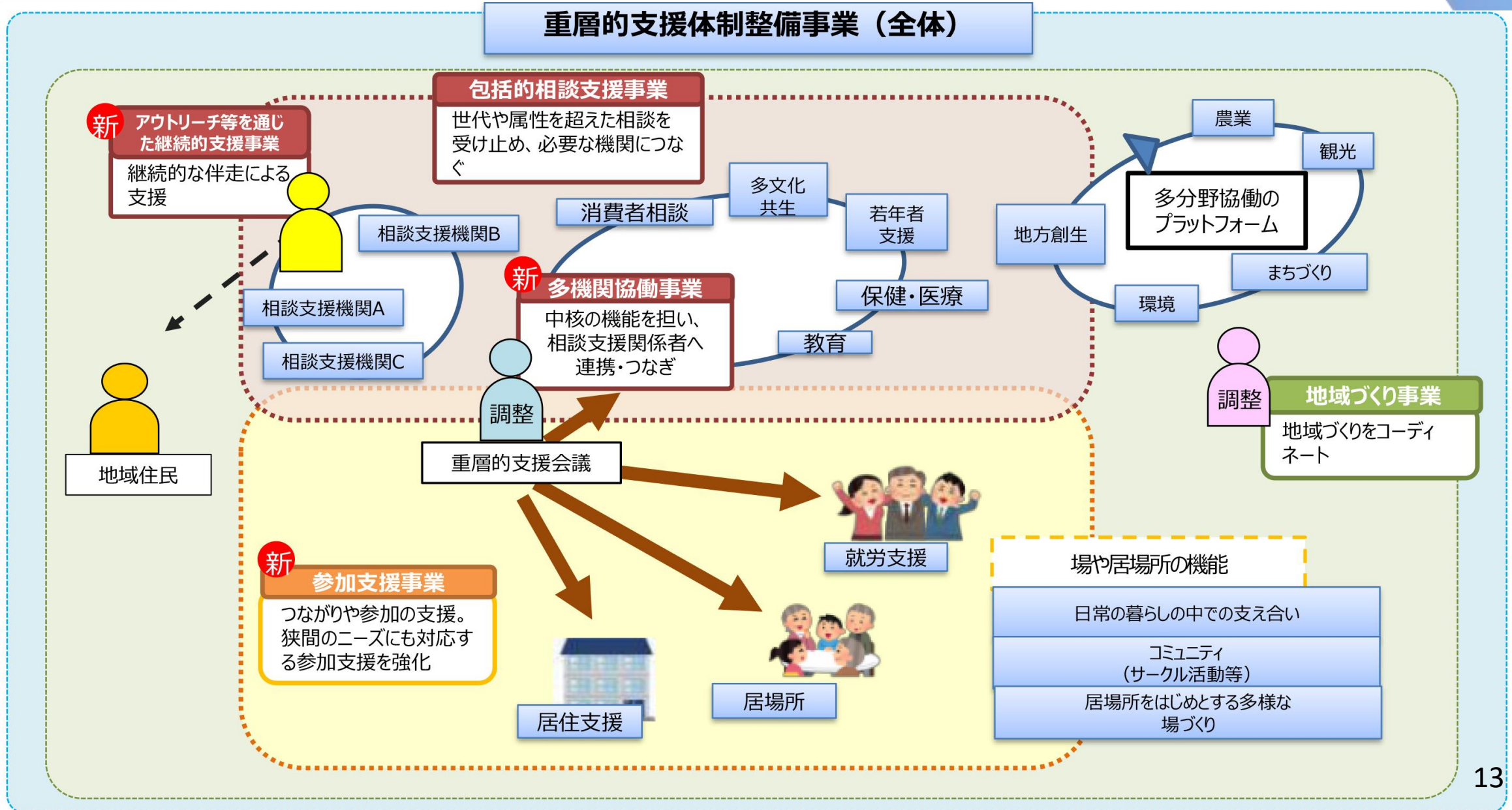
2 参加支援

3 地域づくり

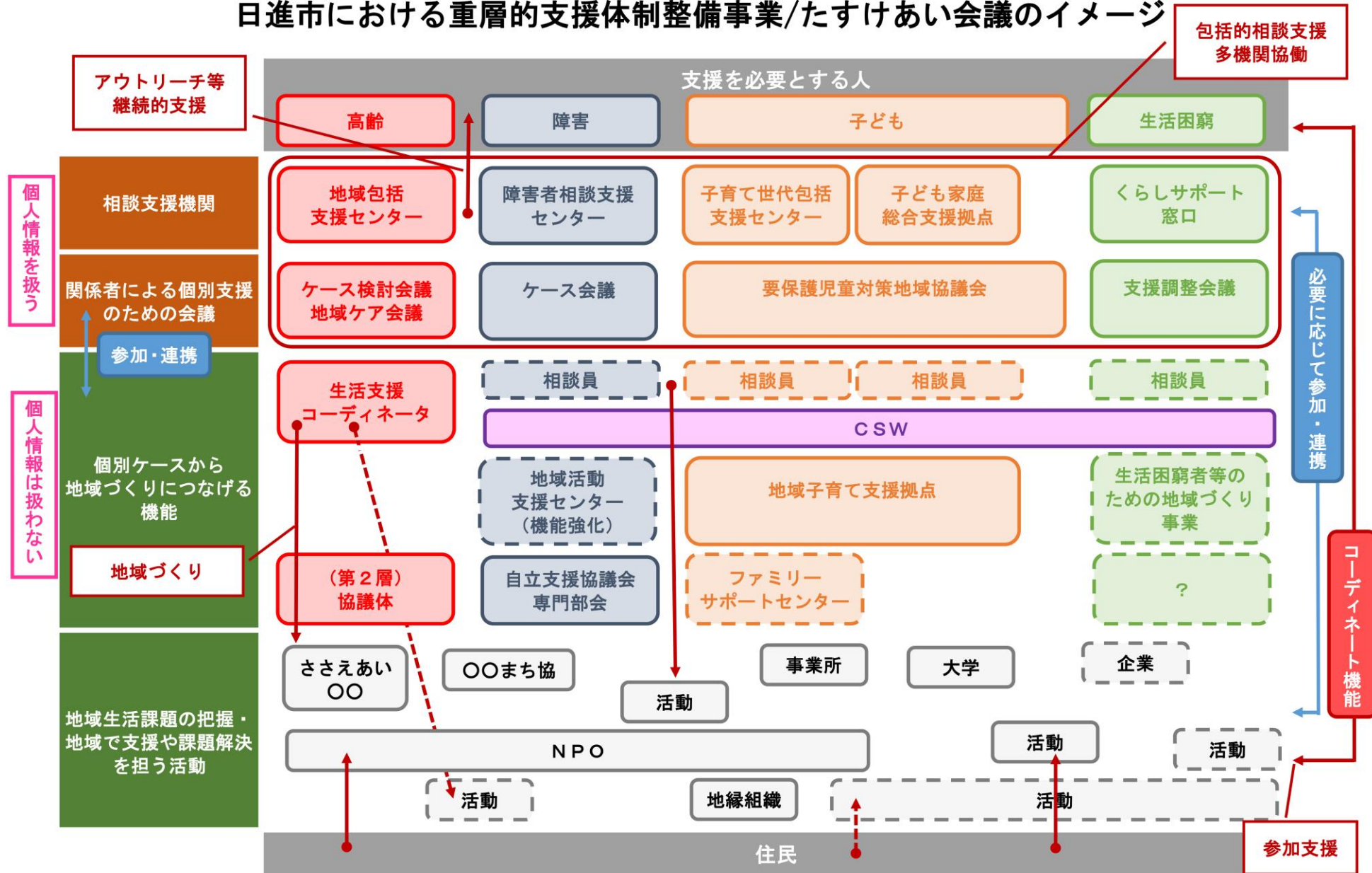
に向けた支援を一体的に実施するための事業

- ・どんな相談も受ける
- ・縦割り打破！他機関協働で解決
- ・こちらから行き(アウトリーチ)本人との関係をつくる
- ・地域資源とのコーディネートで社会参加をすすめる
- ・住民同士の支え合い、孤立防止のための地域づくり

重層的支援体制整備事業について(イメージ)



日進市における重層的支援体制整備事業/たすけあい会議のイメージ



「重層的支援体制整備事業」の実施予定自治体

愛知県	岡崎市
	豊田市
	半田市
	春日井市
	豊川市
	稲沢市
	東海市
	大府市
	知多市
	豊明市
	長久手市
	東浦町
	美浜町
	武豊町

全国では189の自治体の実施予定
(令和4年11月現在)

愛知県内の実施予定自治体
(令和4年11月現在)



福祉厚生委員会では、10月19日に
東海市へ行政視察に行きました。

東海市の視察では、令和3年度より実施している
重層的支援体制整備事業の内容と
ひきこもり支援センターほっとプラザ
についてもお話しをお聞きしました。



日進市での「重層的支援体制整備事業」の充実・強化を図るため、
今後も課題として調査研究し、委員会として取り組んでまいります。
ご静聴いただきありがとうございました。